

新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">別添</p> <p style="text-align: center;">地域医療介護総合確保基金の活用にあたっての留意事項</p> <p>第1 都道府県計画及び市町村計画の作成に関する事項</p> <p>1 基金を充てて実施する事業の範囲</p> <p>(1) 都道府県計画及び市町村計画の作成は、「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」(平成26年厚生労働省告示第354号。以下「総合確保方針」という。)に即して行うものとし、令和7年度において基金を充てて実施する事業の範囲については、総合確保方針第4の二に定めるもののうち、次の事業を対象とするものとする。</p> <p>①-1～⑤ (略)</p> <p>⑥ 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業</p> <p>(2)～(4) (略)</p> <p>2～4 (略)</p> <p>第2 (略)</p> <p>第3 都道府県計画及び市町村計画の事後評価に関する事項</p> <p>都道府県及び市町村が令和6年度都道府県計画及び令和6年度市町村計画に基づく事業の事後評価を行うにあたっては、都道府県医療審議会、地域医療対策協議会、都道府県介護保険事業支援計画作成委員会、市町村介護保険事業計画作成委員会等からも意見を聴取しつつ、以下に規定する視点に基づき、実施するものとする(別添1の別紙1及び別添2の別紙2関係)。</p> <p>また、平成26年度から令和5年度までの都道府県計画の事後評価についても、国と協議を行った計画変更等を反映の上、令和6年度事後評価と合わせて提出すること。(平成26年度から令和5年度までの都道府県計画の事後評価に係る様式はそれぞれの年度に示したものを活用して差し支えない。)</p> <p>なお、当該計画の作成時にロジックモデル等のツールを活用した場合には、事業の評価にあたって、それらのツールを再度活用することも考えられる。課題の評価にあたっては、最終的な成果(アウトカム)を達成するための過程を確認し、適宜必要な場合には、過程のどの段階に課題があるかなど適確に評価することが重要である。</p> <p>1～3 (略)</p> <p>第4 交付金の配分に関する事項</p>	<p style="text-align: center;">別添</p> <p style="text-align: center;">地域医療介護総合確保基金の活用にあたっての留意事項</p> <p>第1 都道府県計画及び市町村計画の作成に関する事項</p> <p>1 基金を充てて実施する事業の範囲</p> <p>(1) 都道府県計画及び市町村計画の作成は、「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」(平成26年厚生労働省告示第354号。以下「総合確保方針」という。)に即して行うものとし、令和6年度において基金を充てて実施する事業の範囲については、総合確保方針第4の二に定めるもののうち、次の事業を対象とするものとする。</p> <p>①-1～⑤ (略)</p> <p>⑥ 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業</p> <p>(2)～(4) (略)</p> <p>2～4 (略)</p> <p>第2 (略)</p> <p>第3 都道府県計画及び市町村計画の事後評価に関する事項</p> <p>都道府県及び市町村が令和5年度都道府県計画及び令和5年度市町村計画に基づく事業の事後評価を行うにあたっては、都道府県医療審議会、地域医療対策協議会、都道府県介護保険事業支援計画作成委員会、市町村介護保険事業計画作成委員会等からも意見を聴取しつつ、以下に規定する視点に基づき、実施するものとする(別添1の別紙1及び別添2の別紙2関係)。</p> <p>また、平成26年度から令和4年度までの都道府県計画の事後評価についても、国と協議を行った計画変更等を反映の上、令和5年度事後評価と合わせて提出すること。(平成26年度から令和4年度までの都道府県計画の事後評価に係る様式はそれぞれの年度に示したものを活用して差し支えない。)</p> <p>なお、当該計画の作成時にロジックモデル等のツールを活用した場合には、事業の評価にあたって、それらのツールを再度活用することも考えられる。課題の評価にあたっては、最終的な成果(アウトカム)を達成するための過程を確認し、適宜必要な場合には、過程のどの段階に課題があるかなど適確に評価することが重要である。</p> <p>1～3 (略)</p> <p>第4 交付金の配分に関する事項</p>

新	旧
<p>令和7年度における交付金の配分については、人口や高齢者の状況などの基礎的要因とともに、都道府県計画の評価等の政策的要因を勘案して配分する予定である。</p> <p>なお、医療分の配分については、病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業に重点化することとしている。</p> <p>また、介護分の配分に当たっては、各自治体の第9期介護保険事業支援計画の内容等も考慮しながら実施することを検討している。</p> <p>第5 経理等に関する事項</p> <p>1 (略)</p> <p>2 繰越し</p> <p>過年度に造成した基金に残額がある場合には、令和7年度都道府県計画に当該残額を充当することを明記することにより、引き続き活用することができるものとする。</p>	<p>令和6年度における交付金の配分については、人口や高齢者の状況などの基礎的要因とともに、都道府県計画の評価等の政策的要因を勘案して配分する予定である。</p> <p>なお、医療分の配分については、病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業に重点化することとしている。</p> <p>また、介護分の配分に当たっては、各自治体の第9期介護保険事業支援計画の内容等も考慮しながら実施することを検討している。</p> <p>第5 経理等に関する事項</p> <p>1 (略)</p> <p>2 繰越し</p> <p>過年度に造成した基金に残額がある場合には、令和6年度都道府県計画に当該残額を充当することを明記することにより、引き続き活用することができるものとする。</p>

新	旧
<p data-bbox="47 118 215 145">別添1 (略)</p> <p data-bbox="47 220 539 247">付属資料1-1・付属資料1-2 (略)</p> <p data-bbox="47 322 275 349">付属資料2 (略)</p>	<p data-bbox="1135 118 1303 145">別添1 (略)</p> <p data-bbox="1135 213 1628 240">付属資料1-1・付属資料1-2 (略)</p> <p data-bbox="1135 316 1364 343">付属資料2 (略)</p>

新

別紙

令和N年度〇〇県計画に関する

事後評価

【様式例】

〇〇年〇月
〇〇県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

旧

別紙

令和N年度〇〇県計画に関する

事後評価

【様式例】

〇〇年〇月
〇〇県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

1. (略)

2. 目標の達成状況

令和N年度〇〇県計画に規定した目標を再掲し、令和N年度終了時における目標の達成状況について記載。

■〇〇県全体（目標と計画期間）

①～⑤ (略)

⑥ 勤務医の働き方改革の推進に関する目標

(例) 〇〇県においては、医師の時間外・休日労働時間の上限規制等に対応し、医師の健康を守るとともに、安全で質の高い地域医療を提供するため、医師の労働時間短縮を強力に進める必要があることから、勤務医の働き方改革の推進の取組を進める。

・特定労務管理対象機関における特定対象医師数の減少

〇〇人（〇年）→●●人（●年）

・医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標を達成した医療機関の割合の増加 〇〇%（〇年）→●●%（●年）

・医師の年次休暇、育児休暇などの取得率が増加した医療機関数

〇〇病院（〇年）→●●病院（●年）

⑦ (略)

□〇〇県全体（達成状況）

1) 目標の達成状況

①～⑤ (略)

⑥ 勤務医の働き方改革の推進に関する目標

(例) 〇〇県においては、医師の時間外・休日労働時間の上限規制等に対応し、医師の健康を守るとともに、安全で質の高い地域医療を提供するため、医師の労働時間短縮を強力に進める必要があることから、勤務医の働き方改革の推進の取組を進める。

・特定労務管理対象機関における特定対象医師数の減少

〇〇人（〇年）→●●人（●年）

・医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標を達成した医療機関の割合の増

1. (略)

2. 目標の達成状況

令和N年度〇〇県計画に規定した目標を再掲し、令和N年度終了時における目標の達成状況について記載。

■〇〇県全体（目標と計画期間）

①～⑤ (略)

⑥ 勤務医の働き方改革の推進に関する目標

(例) 〇〇県においては、2024年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始に向け、医師の労働時間短縮を強力に進める必要があることから、勤務医の働き方改革の推進の取組を進める。

・特定行為研修を受講した看護師数の増加 〇〇人（〇年）→●●人（●年）

・医師事務作業補助体制加算を取得した医療機関数の増加

〇〇病院（〇年）→●●病院（●年）

・客観的な労働時間管理方法を導入している医療機関の割合の増加

〇〇%（〇年）→●●%（●年）

⑦ (略)

□〇〇県全体（達成状況）

1) 目標の達成状況

①～⑤ (略)

⑥ 勤務医の働き方改革の推進に関する目標

(例) 〇〇県においては、2024年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始に向け、医師の労働時間短縮を強力に進める必要があることから、勤務医の働き方改革の推進の取組を進める。

・特定行為研修を受講した看護師数の増加 〇〇人（〇年）→●●人（●年）

・医師事務作業補助体制加算を取得した医療機関数の増加

〇〇病院（〇年）→●●病院（●年）

新	
加	○○% (○年) → ●●% (●年)
・	医師の年次休暇、育児休暇などの取得率が増加した医療機関数
○○	病院 (○年) → ●●病院 (●年)
⑦	(略)
2) ~ 4)	(略)
(略)	(略)

3. 事業の実施状況

令和N年度〇〇県計画に規定した事業について、令和N年度終了時における事業の実施状況について記載。

事業の区分	1-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
(略)	(略)
背景にある医療・ 介護ニーズ	(略)
	アウトカム指標：(例) 基金を活用して整備を行う不足している病床機能毎（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数 ・(略)
(略)	(略)
事業の有効性・効 率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：(例) 基金を活用して整備を行う不足している病床機能毎（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数 ・(略)
	(略)
(略)	(略)

事業の区分	1-2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業
事業名	【No.2 (医療分)】 (略) 単独支援給付金支給事業
(略)	(略)

旧	
・	客観的な労働時間管理方法を導入している医療機関の割合の増加
○○	% (○年) → ●●% (●年)
⑦	(略)
2) ~ 4)	(略)
(略)	(略)

3. 事業の実施状況

令和N年度〇〇県計画に規定した事業について、令和N年度終了時における事業の実施状況について記載。

事業の区分	1-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
(略)	(略)
背景にある医療・ 介護ニーズ	(略)
	アウトカム指標：(例) 令和N年度基金を活用して整備を行う不足している病床機能毎（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数 ・(略)
(略)	(略)
事業の有効性・効 率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：(例) 令和〇年度基金を活用して整備を行う不足している病床機能毎（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数 ・(略)
	(略)
(略)	(略)

事業の区分	1-2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業
事業名	【No.2 (医療分)】 (略) 単独支援給付金支給事業
(略)	(略)

新		旧			
背景にある医療・ 介護ニーズ	(略) アウトカム指標：(例) <u>基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病床機能毎の病床数 (略)	背景にある医療・ 介護ニーズ	(略) アウトカム指標：(例) <u>令和 N 年度基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病床機能毎の病床数 (略)		
(略)	(略)	(略)	(略)		
事業の有効性・効 率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：(例) <u>基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病 床機能毎の病床数 (略) (略)	事業の有効性・効 率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：(例) <u>令和〇年度基金</u> を活用して再編を行う医療 機関及び病床機能毎の病床数 (略) (略)		
(略)	(略)	(略)	(略)		
事業の区分	1・2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業		事業の区分	1・2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業	
事業名	【No. 3 (医療分)】 統合支援給付金支給事業	(略)	事業名	【No. 3 (医療分)】 統合支援給付金支給事業	(略)
(略)	(略)		(略)	(略)	
背景にある医療・ 介護ニーズ	(略) アウトカム指標：(例) <u>基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病床機能毎の病床数 (略)	背景にある医療・ 介護ニーズ	(略) アウトカム指標：(例) <u>令和 N 年度基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病床機能毎 の病床数 (略)		
(略)	(略)	(略)	(略)		
事業の有効性・効 率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：(例) <u>基金</u> を活用して再編を行う医療機関及び病 床機能毎の病床数 (略) (略)	事業の有効性・効 率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：(例) <u>令和〇年度基金</u> を活用して再編を行う医療 機関及び病床機能毎の病床数 (略) (略)		
(略)	(略)	(略)	(略)		
事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業		事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
(略)	(略)		(略)	(略)	

新		旧	
事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業
(略)	(略)	(略)	(略)
事業の区分	6. 勤務医の働き方改革の推進に関する事業	事業の区分	6. 勤務医の働き方改革の推進に関する事業
(略)	(略)	(略)	(略)
背景にある医療・介護ニーズ	<p><u>(例) ○○県においては、医師の時間外・休日労働時間の上限規制等に対応し、医師の健康を守るとともに、安全で質の高い地域医療を提供するため、医師の労働時間短縮を進める必要がある。</u></p> <p><u>アウトカム指標：(例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・特定労務管理対象機関における特定対象医師数の減少 ○○人(○年)→●●人(●年)</u> <u>・医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標を達成した医療機関の割合の増加 ○%(○年)→●%(●年)</u> <u>・医師の年次休暇、育児休暇などの取得率が増加した医療機関数 ○○病院(○年)→●●病院(●年)</u> 	背景にある医療・介護ニーズ	<p><u>(例) ○○県においては、2024年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始に向け、医師の労働時間短縮を進める必要がある。</u></p> <p><u>アウトカム指標：(例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・特定行為研修を受講した看護師数の増加 ○○人(○年)→●●人(●年)</u> <u>・医師事務作業補助体制加算を取得した医療機関数の増加 ○○病院(○年)→●●病院(●年)</u> <u>・客観的な労働時間管理方法を導入している医療機関の割合の増加 ○%(○年)→○%(●年)</u>
事業の内容(当初計画)	<u>(例) 医療機関がチーム医療の推進やICT等による業務改革を実行するために必要な費用を支援する。</u>	事業の内容(当初計画)	<u>(例) 医療機関が勤務時間インターバルを導入するために必要な費用を支援する。</u>
アウトプット指標(当初目標値)	<p><u>(例)：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・タスクシフト/シェア実施件数の増加 ○件</u> <u>・ICTを活用した労働時間の短縮の取組の実施件数の増加 ○件</u> 	アウトプット指標(当初目標値)	<u>(例)：対象となる施設数 ○病院</u>
アウトプット指標(達成値)	<p><u>(例)：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・タスクシフト/シェア実施件数の増加 ○件</u> <u>・ICTを活用した労働時間の短縮の取組の実施件数の増加 ○件</u> 	アウトプット指標(達成値)	<u>(例)：対象となる施設数 ○病院</u>
事業の有効性・効率性	<p><u>アウトカム指標：(例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・特定労務管理対象機関における特定対象医師数の減少 ○○人(○年)→●●人(●年)</u> <u>・医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標を達成した医療機関の割合の増加 ○%(○年)→●%(●年)</u> 	事業の有効性・効率性	<p><u>アウトカム指標：(例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・特定行為研修を受講した看護師数の増加 ○○人(○年)→●●人(●年)</u> <u>・医師事務作業補助体制加算を取得した医療機関数の増加 ○○病院(○年)→●●病院(●年)</u> <u>・客観的な労働時間管理方法を導入している医療機関の割合の増加 ○%(○年)→○%(●年)</u>

新		旧	
	<p>・医師の年次休暇、育児休暇などの取得率が増加した医療機関数 ○○病院（○年）→ ●●病院（●年）</p> <p>※ 指標が観察できなかった場合は、観察できなかった理由及び代替的な指標を記載すること。</p> <p>※ 当初設定していないアウトカム指標についても可能な限り記載すること。</p> <p>（1）事業の有効性</p> <p><u>（例）本事業により特定労務管理対象機関における特定対象医師数の減少や、医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標を達成した医療機関の割合が増加し、労働時間短縮に一定の効果があつた。</u></p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>（略）</p>		<p>○%（●年）</p> <p>※ 指標が観察できなかった場合は、観察できなかった理由及び代替的な指標を記載すること。</p> <p>※ 当初設定していないアウトカム指標についても可能な限り記載すること。</p> <p>（1）事業の有効性</p> <p><u>（例）本事業により特定行為研修を受講した看護師数が増加し、また医師事務作業補助体制加算を取得した医療機関数が増加し、目標を達成した。また、その結果として勤務時間インターバルの確保が図られた。</u></p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>（略）</p>
（略）	（略）	（略）	（略）
事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業	事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業
（略）	（略）	（略）	（略）
事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業
事業名	【NO. ●●】 介護に関する入門的研修の実施等とマッチングまでの一体的支援事業	事業名	【NO. ●●】 介護に関する入門的研修の実施等とマッチングまでの一体的支援事業
（略）	（略）	（略）	（略）
背景にある医療・ 介護ニーズ	（略）	背景にある医療・ 介護ニーズ	（略）
	アウトカム指標：（例）入門的研修受講者の介護分野への就職者数（令和N年：○○人→ 令和N+1年：●●人）		アウトカム指標：（例）入門的研修受講者の介護分野への就職者数（RN年：○○人→R N+1年：●●人）
（略）	（略）	（略）	（略）
事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業
（略）	（略）	（略）	（略）
背景にある医療・	（略）	背景にある医療・	（略）

新		旧	
介護ニーズ	アウトカム指標：(例) 入門的研修受講者の介護分野への就職者数 (令和N年：〇〇人→ <u>令和</u> N+1年：●●人)	介護ニーズ	アウトカム指標：(例) 入門的研修受講者の介護分野への就職者数 (<u>R</u> N年：〇〇人→ <u>R</u> N+1年：●●人)
(略)	(略)	(略)	(略)
別添 2 (略)		別添 2 (略)	
別紙 2 (略)		別紙 2 (略)	
別添 3 (略)		別添 3 (略)	
別添 4 (略)		別添 4 (略)	